

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	市場施設整備事業		部課コード	2707	予算事業科目	120101010270	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	農林水産部	部長名(2次評価者)	水口俊智		個別事務	全部	120101010270	-		
	担当部署	市場課	所属長名(1次評価者)	西内八郎					-		
	電話番号	088-883-1171	E-mail	kc-270700@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	12 中央卸売市場事業特別会計	目標	01 新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	活力ある都市の実現をめざし、起業と創造を促進するとともに、新たな産業の創出を図るなど、新しい価値を生み出す商工業を振興します。					
款	01 総務費	政策	04 新しい価値を生み出す商工業の振興							
項	01 総務管理費	施策	05 中央卸売市場の充実強化							
目	01 総務管理費	区分	01 中央卸売市場の整備							

2 事業の根拠

法律・政令・省令	卸売市場法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市中央卸売市場設置条例	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市場内の施設	
意図	どのような状態にしていくのか	既存施設の修繕改修を実施し市場機能の維持向上を図る	
手段	事業実施体制等	現状確認し必要な工事を発注	事業開始年度 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	中央幹線道路舗装工事・固定栈橋支持鋼管杭保護被覆剥離補修工事	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A		
	B		
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	3,172	12,448	9,149	29,480		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	3,172	12,448	9,149		29,480
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	375	1,125	750	2,250		
		正規職員 (千円)	375	1,125	750	2,250		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.05	0.15	0.10	0.30		
		正規職員 (人)	0.05	0.15	0.10	0.30		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		3,547	13,573	9,899	31,730	総コスト/年度末人口		
市民1人当たりコスト (円)		10	40	29				
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

既存施設の修繕・改修の事業。市の契約法規に基づく発注工事であり成果指標設定は困難であるが、施設の維持向上の目的は達成できている。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 28 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	適正な管理運営が条例で定められている市場内施設の効率的な利用維持を目的とした事業であり実施計画と合致している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	必要な整備改修の実施であり市場特別会計の中で計画的に実施。発注は高知市の業務規定に基づき実施。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	現状ではアウトソーシングが可能な事業主体はない。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	事業自体が特定の団体等に関するものではない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 評価	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			
総合評価		16.0			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	市場施設運営上必要最小限での維持管理をおこなうもの。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項